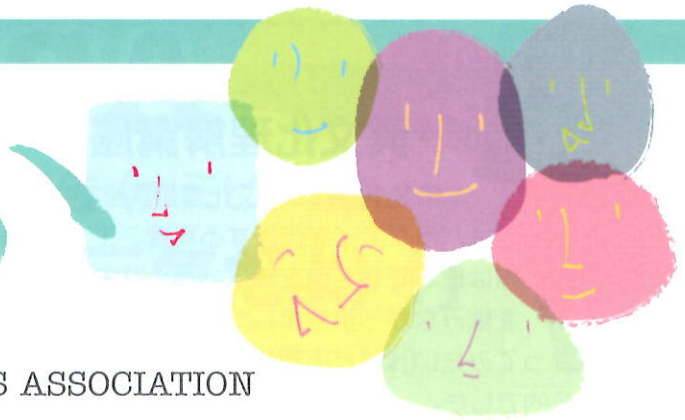


国際交流 もりおか



MORIOKA INTERNATIONAL RELATIONS ASSOCIATION

【発行】公益財団法人盛岡国際交流協会 〒020-8530 岩手県盛岡市内丸12番2号 盛岡市役所本庁舎1階

【TEL】019-626-7524 【FAX】019-622-6211 【URL】<http://www.mira-morioka.com/> 【E-mail】info@mira-morioka.com

2017年7月1日（土）、カナダが建国150周年を迎えました。それに伴い姉妹都市であるビクトリア市から谷藤裕明市長夫妻、菊田隆市議会議長夫妻がご招待を受け6月29日（木）から7月3日（月）までビクトリア市で行われたカナダ建国150周年式典に出席しました。

谷藤市長一行は、記念式典に出席したほか、ビクトリア市が姉妹都市関係を築いているオーストラリアのネーピア市長などが出席した朝食会での意見交換や、現地で姉妹都市交流を支える市民から構成されるビクトリア盛岡友好協会の皆さんが、新たにジュビリー病院に寄贈した新渡戸稲造の胸像の除幕式に参列しました。盛岡市にも、姉妹都市交流を長年支える市民団体「盛岡・ビクトリア友好協会」があり、そのメンバーも今回訪問され、両市の友好協会のメンバーが友情を確かめ合う場面が数多くありました。

谷藤市長、ヘルプス市長は両市の現状を報告し、教育面での交流など様々な分野について意見交換を行いました。今年10月に予定されているリサ・ヘルプス市長の初来盛に向けて、現在ビクトリア市が力を入れている観光や建築関係に関わる取組みについて、盛岡の地で対話や視察を行いたいという要望が出されました。

7月1日、建国記念日当日は配布された赤と白のTシャツを着てカナダ国旗を作る「リビングフラッグ」行事では、ビクトリア市の歴史上最多となる5,004人の参加者の一員として、訪問団一行はビクトリア市民と一緒に「リビングフラッグ」を完成させました。同日夜にはヘルプス市長や市民の方々と一緒に建国記念の花火を見学、同会場では盛岡に興味を持ってくださった市



7月1日 記念式典花火の様子



センチニアルパークにある友情の鐘銘板除幕式にて

民の方々との交流など、姉妹都市の歴史を幅広い年齢層の方に伝える貴重な機会となりました。

新渡戸稲造博士が最期を迎えたロイヤル・ジュビリー病院には、ビクトリア盛岡友好協会ビル・マクレディー会長により新渡戸博士の胸像が新たに設置され、その記念除幕式が執り行われました。また、両市の友好協会役員やビクトリア元市長のアラン・ロー氏が友情の絆を記念し2015年に作成した「友情の鐘」へ新たに追加された銘板の除幕式も行われました。両除幕式にはラグビー交流のためビクトリア市を訪れていた盛岡市民の有志も参加されました。今回の訪問で、市民レベルの長い友好関係が両市の姉妹都市交流を支えていると改めて感じる訪問となりました。

異文化理解講座 パラグアイ料理・文化

本年度1回目の異文化理解講座では、料理を通してパラグアイ文化について学びました。

今回の講座ではパラグアイを代表する料理、エンパナーダやパスタ入り鶏肉スープのカルド・デ・ポリョを調理。試食の際は日本でも名前を耳にするようになったパラグアイのお茶“マテ茶”を飲みながら頂きました。参加者からは「美味しかったので家でも作ってみたい」などととても好評で、講師や参加者同士が話し合う姿が印象的でした。

講座の終盤には講師からパラグアイについて紹介があり、野菜は基本的にピーマン、にんじん、玉ねぎしか食さないことや、唯一国旗が裏と表で違う柄である国であることなど、とても興味深い内容となりました。



7月22日(土) 盛岡市中央公民館

日本文化体験講座 お琴講座～小型箏こがたこと「和音」かすね

日本文化体験講座 お琴講座～小型箏「和音」を開催しました。中国、台湾などの外国人と市民の計17名で盛岡発祥の小型箏「和音」に挑戦。緑が美しい日本庭園を眺めながら、日本を代表する曲「さくら」の他、きらきら星などを弾きました。初めて箏に触れる方が多く、最初は不安な表情を浮かべていた方も、先生方から教わったり参加者同士で声を掛け合ったりしながら徐々にコツをつかみ、弾けるように！最後に全員で合わせて演奏しましたが、弾き終わると大きな拍手と笑顔がこぼれ、楽しい講座となりました。



7月8日(土) 岩手大学

留学生と市民のガーデンパーティ ～世界の屋台村～

「留学生と市民のガーデンパーティ～世界の屋台村～」を開催しました。イベントでは、岩手大学と盛岡情報ビジネス専門学校の留学生の皆さん、そして盛岡在住の外国籍市民の皆さんがそれぞれのお国自慢の料理や民俗芸能を披露。今年度は中国、インドネシア、ロシアなど10チームが屋台を出店し、来場者の方々は普段なかなか触れることができない各国の味に舌鼓を打っていました。民俗芸能のコーナーではフランスや中国新疆ウイグル自治区の留学生が歌や民俗舞踊を披露、また盛岡市のさんさ踊りチームがさんさ踊りを披露し、イベントは大盛況のうちに終了しました。



8月26日(土) 盛岡市中央公民館

中学生による国際交流スピーチコンテスト



今回で15回目を迎えたスピーチコンテストでは、事前選考を勝ち抜いた21名が、「国際交流で自分の強みを生かすには」をテーマに元気なスピーチを行いました。“自分の考えをはっきり伝えること”“何事にもチャレンジすること”“知りたいという思いの強さ”など様々な強みが発表されました。このイベントは、姉妹都市交流に代表される盛岡市の国際活動に興味を持ってもらうために、当協会が毎年開催しているものです。コンテストで選ばれた、最優秀賞と優秀賞の15名は、10月28日から11月4日に行われる「ビクトリア市研修」へ参加します。9月から事前研修に挑みます。

JICA

ボランティア活動報告〈ナミビア編〉

「Oshili Nawa (元気だよ)！」

青年海外協力隊員 鈴木 健治 さん (盛岡市出身)



ナミビア共和国はアフリカ南西部に位置する1990年に南アフリカ共和国から独立した国で、公用語は英語が使われています。世界最古の砂漠と呼ばれる「ナミブ砂漠」が大西洋側に位置しています。国土の大半が砂漠地帯であることから国名は「何もない」という意味の「ナミブ」から名づけられました。気候は真夏だと気温が40℃を超えますが、真冬には氷点下近くまで下がります。ナミビアには国が保護している国立公園が多くあり、アフリカでしか見られない珍しい野生動物(オリックスやクドゥなど)が数多く生息しています。

私は青年海外協力隊員として、首都から北へ700 km離れた町オングウェディバの職業訓練校で電気・電子工学を教えています。主な活動は技術指導で、同僚教員と共に生徒へ電気の基礎的な理論を講義形式と実習で指導しています。教えている内容は電気回路や、発電の仕組み、デジタル回路や通信の仕組みなどです。英語で専門的な内容を伝



実習の様子

えるのは非常に骨が折れますが、理解してもらえた時にはやりがいを感じます。授業以外の空き時間はブラウン管テレビや電子レンジ、パソコン、携帯電話など電気関係のトラブル対応をしています。

毎年8月、私の任地でナミビア最大の「トレードフェア」が催されます。日本でいう展示会で各企業が自社製品を紹介する大規模なイベントです。私たち青年海外協力隊員は毎年日本文化を紹介するブースを出展しています。去年はナミビアの子供達と日本の伝統的な遊び(射的、だるま落とし、お手玉、習字等)を通して、交流しました。なかなかできない貴重な機会に恵まれ、ナミビアと日本の距離が縮まったのではないかと思います。

皆様のおかげで途上国での長期滞在という貴重な経験をさせてもらっています。この記事をご覧になって少しでもナミビアや青年海外協力隊を身近に感じてもらえたら幸いです。



トレードフェアでソーラン節を踊ったとき(最前列、右から3番目が筆者)

Morioka Host Town Project

今年5月、クライミングのカナダ代表チームが盛岡を訪れました。チームはIFSCクライミング・ワールドカップボルダリング八王子2017の事前キャンプの実施とオリンピック事前キャンプ地の視察を兼ねて盛岡を訪れました。県営運動公園にあるボルダリング施設でトレーニングを行う中、地元クライマーとの交流大会も開催され、一行は、歓迎ムードあふれる盛岡を肌で感じることができたようです。トレーニングの合間には、桜が満開を迎えた米内浄水場や、盛岡八幡宮、姉妹都市交流に関わりの深いトーテムポールや、記念品などが点在する盛岡城跡公園、五百羅漢などを巡りました。



5月3日 運動公園にて行われたクライミング交流大会



地元選手との合同練習

姉妹都市交流を支える関係者との夕食会では、クライミング界で活躍する盛岡在住の中学生、伊藤ふたばさんによる英語での歓迎スピーチが行われるなど、選手同士の交流も行われました。

当協会では、カナダのホストタウンとなる盛岡市の活動をサポートしています。盛岡市とビクトリア市の姉妹都市交流から派生し、現在本格始動しているホストタウン交流は、今後各競技団体との調印式や、交流イベントなど、ますます加速していくことが予想されます。皆さまの応援、ご協力をお願いします。

MIRA イベント各種ご案内

中学生ビクトリア市研修 10月28日(土)～11月4日(土)

異文化理解講座〈インドネシア料理と文化〉 12月16日(土)

スペイン語講座 平成30年2月24日(土)～3月10日(土)

平成29年度・平成30年度賛助会員募集中!

当協会は賛助会員を随時募集しています。会員になると当協会が主催する語学講座の先行申込みや参加費の割引などが受けられます。ぜひ私たちと一緒に身近な国際交流を始めてみませんか?

●年会費(4月～翌年3月まで)

個人：1,000円 団体：10,000円 ※自動更新ではありません。

盛岡国際交流協会
キャラクター
モリーラ

